



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2022年4月28日

企業・団体名 富山県消費者協会

代表者名 会長 尾畑納子

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

- 取組み期間 令和3年10月29日（宣言日）～令和4年3月31日
- 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>公正かつ持続可能な社会の実現のため、消費行動が環境に及ぼす影響を考慮する消費者の割合の増加を目指します。</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらしのアドバイザーによる啓発講座「くらしの相談会」を、県内9市町において51回開催しました。（受講者1,173名）</li> <li>・大学生による中高生のための消費者教育モデル事業を実施し、富山大学生が消費者問題を学ぶとともに、高校に出向いて、消費者被害防止やエシカル消費についての啓発講座を行いました。（大学生5名、11月の受講生259名）</li> </ul>
2	<p>エシカル消費を推進し、マイバッグ持参の徹底や、県民一人1日当たりの食品ロス発生量の半減を目指します。</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業参加型エシカル消費PR事業により、スーパーマーケット アルビス（県と包括連携協定を締結）の店舗で「とやまエシカルフェア」を開催し、認証マーク付きの商品や地産地消食品の陳列販売、ミニ講座などを実施し、その後のアンケート調査では、「エシカル消費」の認知度が50%から96%に上昇しました。</li> </ul>
3	<p>毎年、消費者問題に関するアンケート調査を実施し、調査結果を公表することにより、消費者意識の向上と、生産者、販売者、行政との公正な意思疎通を図ります。</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「暮らしの中のデジタル化について～消費者の視点で考えよう～」で実施したアンケートの調査結果報告書を公表するとともに（令和3年12月24日）、ホームページに掲載しました。（調査は令和3年6月下旬～7月下旬、回答者数1,801名）</li> <li>・調査結果を踏まえて、第3回研修会（令和4年3月2日「暮らしの中のデジタル化を考えよう」）を開催し、調査結果の報告や、県や企業におけるデジタル化の取組み紹介、意見交換などを行い情報の共有を図りました。（参加者68名）</li> </ul>

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。